

新会社の白山瀬波を設立

地域活性化事業の第1号

中央設計技術研究所

中央設計技術研究所
(金沢市、中辻英一社長)
は15日、同社における地
域活性化事業の第1号と
なる新会社「株式会社白山瀬波」
の設立並びに、同社白山
事務所の開所式を石川県
白山市瀬波に開設した事
務所で執り行つた。
新会社は過疎化が著し
い瀬波地区の活性化を目
的に行、同社と地元の住民
や出身者の有志11人が出
資して設立。キャンプ場



握手を交わす関係者(左から中辻社長、西原部長ら)

の運営管理や農作物の販
売、除雪対応など地域の
委託管理を行い、地域創
生を目指す。

同日は同社幹部のほ
か、来賓として前多喜良
白山市議、白山市吉野谷
市民サービスセンターの
岩倉隆一所長、西原正男
瀬波区長が出席。白山瀬
波の社長に就任した瀬波
出身の西原秀幸同社プロ
ジェクト開発部部長が
「グローバル化が叫ばれ
てきている中で、あえて地元
にこだわり、情熱とやり
がいを持って、地域活性
化に努めていきたい」と
決意を表明。中辻社長も
「地元を思つ一人ひとり
が活性化に携わっていく
ことは、他の地域に与え
る影響も大きい」と過疎

化という同じ課題を抱え
る他の地域への波及効果
にも期待を寄せた。

新会社ではまず、薪の
販売とともに、今月30日
に市内小中学生を対象にゴ
川魚の生態学習としてゴ
リの放流や漁業関係者を
招き講演会を開催する。